



## インストールと設定

---

- [Cisco USB GNSS ドングル 設置の前提条件](#) (1 ページ)
- [設置に関するガイドライン](#) (1 ページ)
- [Cisco USB GNSS ドングルのインストール](#) (2 ページ)
- [LED ステータス](#) (2 ページ)
- [コンフィギュレーション](#) (3 ページ)

### Cisco USB GNSS ドングル 設置の前提条件

- ネットワークには、シスコワイヤレスコントローラとサポートされているシスコ AP が含まれている必要があります。これらの AP はコントローラに関連付けられている必要があります。

### 設置に関するガイドライン

Cisco USB GNSS ドングルに関連した設置ガイドラインのリストを次に示します。

- ドングルは、天井から AP を取り外さずに、サポートしている AP の USB ポートに接続できます。
- リピーターやアンプなど、セルラー LTE 周波数で動作する機器やアンテナの近くにドングルを配置する場合は、注意してください。この機器は、GNSS 周波数に干渉する可能性があります。
- 外部アンテナを取り付ける場合は、機械的ストレスを軽減するため、コネクタをドングルに挿入する前に、アンテナを目的の場所に配置し、ケーブル管理作業を実行します。

# Cisco USB GNSS ドングルのインストール

ステップ 1 Cisco USB GNSS ドングルを AP の USB ポートに差し込みます。

(注) USB コネクタの機械的安定性を確保するために、USB ドングルを過度に挿入したり取り外したりすることは避けてください。

ステップ 2 コントローラ GUI にログインします。

ステップ 3 **[Configuration]** > **[Tags & Profiles]** > **[AP Join Profile]** > **[General]** を選択します。

[AP Join Profile] を選択します。

ステップ 4 [General] セクションで、[USB Enable] チェックボックスをオンにして USB ポートを有効にします。

ステップ 5 **[Configuration]** > **[Wireless]** > **[Access Points]** > **[All APs]** を選択します。

ステップ 6 Cisco USB GNSS ドングルが設置されている AP を選択します。

ステップ 7 [Inventory] タブをクリックします。

ステップ 8 [USB Module Inventory] セクションで、USB モジュールの詳細を確認します。

Cisco USB GNSS ドングルを使用して、すべての AP に対して USB モジュールの検証を実行することを推奨します。

## LED ステータス

次の表で、Cisco USB GNSS ドングルの LED ステータスについて説明します。

表 1: LED ステータス

LED カラー	ステータス
レッド	衛星 FIX の準備ができていない
グリーン	衛星 FIX の準備完了
グリーンの点滅	衛星信号/FIX の取得



(注) LED の明るさ制御（調光）およびマルチカラーステータスはサポートされていません。

# コンフィギュレーション

## 外部アンテナケーブル長の設定

GNSS 外部アンテナケーブルの長さは AP ごとに設定され、AP は再起動後も値を保持します。アンテナケーブルが外部アンテナ付属ケーブルの長さ 10 m を超える場合は、ケーブル長を手動で設定する必要があります。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device# enable	特権 EXEC モードを有効にします。 パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>ap name ap-name geolocation gnss antenna external cable-length cable-length</b> 例： Device# ap name test-ap geolocation gnss antenna external cable-length 15 Device# ap name test-ap <b>no</b> geolocation gnss antenna external cable-length	ケーブル長をメートル単位で設定します。範囲は 1 ~ 100 m です。 手動で設定したケーブル長を削除し、ケーブル長をデフォルト値にリセットするには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。

## 圧力センサーパラメータの設定

このタスクでは、圧力センサーのパラメータを設定します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>ap profile ap-profile-name</b> 例： Device(config)# ap profile ap-profile-name	AP プロファイルを設定し、AP プロファイル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>sensor environment pressure mode disabled</b> 例： Device(config-ap-profile)# sensor environment pressure mode disabled	このコマンドにより、圧力センサーが無効になります。デフォルトでは、センサーは自動的に設定されています。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<b>end</b> 例： Device(config-ap-profile)# end	コンフィギュレーションモードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。

## 地理位置情報パラメータ

### 地上高地理位置情報パラメータの設定

APの地上高（AGL）をメートル単位で手動で設定できます。APが高さの値を受信していない場合は、このオプションを使用して高さを設定できます。設定された値はAPで保持され、再参加中にコントローラに報告され、APのリロード後も保持されます。

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Device# enable	特権 EXEC モードを有効にします。パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>ap name <i>ap-name</i> geolocation height <i>ap-height</i></b> 例： Device# ap name <i>ap-name</i> geolocation height 350 Device# ap name <i>ap-name</i> <b>no</b> geolocation height	APの地上高（AGL）をメートル単位で入力します。範囲は -100 ~ 1000 m です。 特定の AP に手動で設定された AGL 値を削除するには、このコマンドの <b>no</b> 形式を使用します。

### 派生地理位置情報パラメータクリアの設定

次のコマンドにより、取得した地理位置情報がクリアされます。特定の AP、すべての AP から、または AP の MAC アドレスを使用して、値をクリアできます。

#### 手順

- **clear ap name *ap-name* geolocation derivation**

例：

```
Device# clear ap name test-ap geolocation derivation
```

この CLI は、特定の AP のメモリから取得された地理位置情報の値をクリアします。

- **clear geolocation derivation**

例：

```
Device# clear geolocation derivation
```

この CLI は、コントローラに関連付けられているすべての AP のメモリから取得された地理位置情報の値をクリアします。

- **clear ap mac-address *ap-mac-addr* geolocation derivation**

例：

```
Device# clear ap mac-address ap-mac-addr geolocation derivation
```

この CLI は、MAC アドレスで識別される特定の AP のメモリから取得された地理位置情報の値をクリアします。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。